別表第二付表第二（第一条関係）

留意事項											
※1【必須】　：「◎」･･･ パラメータまたはオブジェクトが必ず出現する。「」（空白）･･･パラメータまたはオブジェクトが出現しない場合がある。											
※2【null設定有無】　：「○」･･･ 値にnullが設定される場合がある。「-」･･･値にnullは設定されない。											
レスポンスID	oauth/v1/introspect_S01										
項番	レベル	レスポンスオブジェクト名 階層	項目名	項目説明	必須 ※1	null設定有無 ※2	データ型	文字種	データ長 桁数	備考	
■正常系（HTTPステータスコード：200、JSON形式でのレスポンス）											
1	1	レスポンスオブジェクト			◎	-	構造化	-	-		
2	2	active	アクティブ	アクセストークンのアクティブ状態	◎	-	boolean	-	-	アクティブなトークンの場合はtrue、そうでない場合はfalseを指定	
3	2	scope	スコープ	アクセストークンに紐付くスコープの一覧	-	○	文字列	半角英数字記号	-	発行したトークンに紐付いているスコープ （"active": trueの場合のみ必須）	
4	2	iss	発行者	アクセストークンの発行者	-	○	文字列	半角英数字記号	32	認証認可サーバのURL （"active": trueの場合のみ必須）	
5	2	client_id	クライアントID	アクセストークン発行対象のクライアント	-	○	文字列	半角英字	32	32文字のクライアントID （"active": trueの場合のみ必須）	
6	2	token_type	トークンタイプ	アクセストークンの種別	-	○	文字列	半角英字	6	"Bearer"固定 （"active": trueの場合のみ必須）	
7	2	exp	有効期限	アクセストークンの有効期限	-	○	数値	半角数字	10	発行されたクライアントアサーションJWTの有効期限のUNIX時間 （"active": trueの場合のみ必須）	
8	2	iat	発行時刻	アクセストークンの発行時刻	-	○	数値	半角数字	10	発行されたクライアントアサーションJWTの発行時刻のUNIX時間 （"active": trueの場合のみ必須）	
9					◎	-	構造化	-	-		
■正常系エラー（HTTPステータスコード：400 or 401、JSON形式でのレスポンス）											
1	1	レスポンスオブジェクト			◎	-	構造化	-	-		
2	2	error	エラーコード	エラーコード	◎	-	文字列	半角英数字	-		
3	2	error_description	エラーメッセージ	エラーの内容	◎	-	文字列	全角半角英字	-		
4					◎	-	構造化	-	-		
■異常系（HTTPステータスコード：503、JSON形式でのレスポンス(ただし、30秒以上タイムアウトエラー、サービスメンテナンス中は、原則HTTPステータスコード500番台のエラーが返却され、JSON形式では返却されない)）											
－	－	ボディなし			-	-	-	-	-		

エラーコード一覧

項番	エラーコード	エラーの内容	HTTPステータスコード
1	invalid_request	必須のパラメータが設定されていない、パラメータのフォーマットが異なる、などのパラメータエラー。	400
2	invalid_client	未登録のクライアントからのリクエスト、クライアントアサーションJWTが存在しない、クライアントアサーションJWTの検証が失敗するなどの場合。	401
3	unauthorized_client	登録はされているが、利用を許可されていないリクエスト元からのアクセスの場合。	401